

平成23年度国債発行予定額

＜発行根拠法別発行額＞

(単位: 億円)

区 分	22年度当初	22年度補正後		23年度当初		
	(a)	(b)	(b) - (a)	(c)	(c) - (a)	(c) - (b)
新規財源債	443,030	443,030	－	442,980	▲ 50	▲ 50
建設国債	63,530	76,030	12,500	60,900	▲ 2,630	▲ 15,130
特例国債	379,500	367,000	▲ 12,500	382,080	2,580	15,080
借換債	1,026,109	1,024,048	▲ 2,060	1,112,963	86,854	88,914
財投債	155,000	155,000	－	140,000	▲ 15,000	▲ 15,000
国債発行総額	1,624,139	1,622,078	▲ 2,060	1,695,943	71,804	73,864

・平成23年度において、特別会計仕分けの結果を反映し、国債整理基金の取崩し等を財源とした買入消却を総額3兆円程度実施(具体的な実施方法は、四半期毎に市場の状況を見ながら決定)。なお、平成22年度においても、国債整理基金の取崩しを財源とした買入消却を0.8兆円程度実施。

(注) 平成23年度については、財政投融资特別会計におけるALM高度化のための買入消却を含む。

・平成23年度における前倒し債発行限度額は12兆円。

(注1) 各計数ごとに四捨五入したため、計において符合しない場合がある。

(注2) カレンダーベース市中発行額とは、あらかじめ定期的に額を定めた入札により発行する国債の4月から翌年3月までの発行予定額の総額をいう。

(注3) 第Ⅱ非価格競争入札とは、価格競争入札における加重平均価格を発行価格とする、価格競争入札の結果公表後に実施される国債市場特別参加者向けの入札をいう(価格競争入札における各国債市場特別参加者の落札額の15%を上限)。第Ⅱ非価格競争入札に係る発行予定額については、当該入札を実施する国債(40年債、30年債、20年債、10年債、5年債、2年債、15年変動利付債及び10年物価連動債)のカレンダーベース市中発行額の3.75%を計上している。

＜消化方式別発行額＞

(単位: 億円)

区 分	22年度当初	22年度補正・12月変更後		23年度当初		
	(a)	(b)	(b) - (a)	(c)	(c) - (a)	(c) - (b)
カレンダーベース市中発行額	1,443,000	1,428,000	▲ 15,000	1,449,000	6,000	21,000
第Ⅱ非価格競争入札	39,825	61,770	21,945	40,050	225	▲ 21,720
前倒し債発行減額による調整分	314	5,308	4,995	63,893	63,579	58,584
市中発行分 計	1,483,139	1,495,078	11,940	1,552,943	69,804	57,864
個人向け国債	20,000	9,000	▲ 11,000	20,000	－	11,000
その他窓販	8,000	5,000	▲ 3,000	5,000	▲ 3,000	－
個人向け販売分 計	28,000	14,000	▲ 14,000	25,000	▲ 3,000	11,000
公的部門(日銀乗換)	113,000	113,000	－	118,000	5,000	5,000
合 計	1,624,139	1,622,078	▲ 2,060	1,695,943	71,804	73,864